

知っておきたい!



# e コマースワード



Pick Up  
Word

## NFT

最近よく **NFT** という言葉を目や耳にします。NFTとは、「Non Fungible Token (ノンファンジブルトークン)」の頭文字をとったもので、日本語では「非代替性トークン」などと呼ばれています。

NFTはブロックチェーン\* (分散型台帳) から発行されるトークン (証明書のようなもの) で、発行されたNFTと同じNFTは世界に2つと存在しません。さらに、NFTは複製 (コピー) ができないという特性があります。これまで、デジタルデータは複製されやすいことから資産価値などの実質的な価値は実在するものと比べ低いとみなされてきましたが、NFTの出現によりデジタルデータの唯一性を保証できるようになったことで、デジタルデータにも価値がつくようになりました。

NFTの活用は、デジタルアート、Twitterのツイート、プロバスケットの名場面、仮想空間の土地や住宅の権利など様々な場面でみられるようになりました。

そして、NFTを利用する土台となるのが、**メタバース**です。メタバースとは、「超越した」という意味のmetaと、「宇宙」を意味するuniverseを組み合わせた造語であり、インターネット上に構築された、現実世界とは異なる3次元の仮想空間やそのサービスのことです。

コロナ禍で物理的な接触や交流が大きく制限されました。メタバースにおけるNFTマーケットの拡大で、私たちの経済活動が変わるかもしれません。

\*ブロックチェーンとは、「ブロック」と呼ばれるデータの単位を生成し、時系列で鎖 (チェーン) のように連結していくことによりデータを保管するデータベースのこと。「ブロック」は一定時間ごとに新たなものが生成され、記録されたデータの改ざんが難しく、安全性が高いとされています。

昨年話題となった、8歳の少年による「NFTアート」は夏休みの自由研究として制作したもの。

NFT取引所の世界最大手「OpenSea (オープンシー)」に作品「Zombie Zoo」のドット絵を掲載し、わずか1週間で購入され、売買額は仮想通貨で約2,300円。その後の二次流通で、著名音楽プロデューサーが約240万円で購入し注目されました。

**+**  
ちよい足し!



### メタバースの市場規模



2020年



約5,000億  
米ドル

2024年  
(予測値)



約8,000億  
米ドル

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券(REIT)などの値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料: **上限3.85%(税込)**

換金時手数料: **換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。**

信託財産留保額: **上限0.5%**

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬): **上限年率2.09%(税込)**

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料: 上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用(上限額等を含む)を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
  1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
  2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
  3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

220405JS知っておきたいコマースワード#2